

パソコンで使用する文字「フォント」。使用するフォントで作品の表情が変わります。角ばった字、丸い字、毛筆の字、様々なフォントがあります。

●フォントの種類

フォントにはどのような種類があるのでしょうか。フォントを選ぶときに沢山あって「どれを選べば？」と迷う場合もあるでしょう。

大まかな種類でも覚えておけば、フォントを選ぶときに参考になります。大きくは次の通り。

①和文フォント

文字通り「和文」日本語文書を作成するときに主に使用するフォントです。「英・数・記号・かな・漢字・半角文字」のすべての文字に適用できます。

・明朝体

毛筆調でスッキリしたデザインの文字です。ワードでは「MS明朝」が標準のフォントになっています。

・ゴシック体

文字の太さが同じデザインの文字です。エクセルでは「MSゴシック」が標準のフォントになっています。

・ポップ体

チラシによく用いられる、丸みのある手書き風デザインの文字です。

・筆記体

毛筆で書いたようなデザインの文字です。楷書体、行書体、草書体、隷書体、勘亭流などがあります。

その他、様々なデザインの文字がありますが、前述の5種類を区別するだけでも、フォント選びが容易になります。

②欧文フォント

半角の英・数・記号文字に使用できるフォントで日本語の文字には適用できません。フォントの種類は日本語のものより沢山あります。中には記号しかもないフォントもあり、アルファベットの代わりに様々な記号が選べます。

③パソコンによって違う

パソコンにあらかじめ組み込まれている「フォント」はメーカーや機種によって様々です。持っていないフォントで作成された文書を読み込むと、ゴシックや明朝体に置き換わって表示されます。それぞれのパソコンの環境で異なりますので注意が必要です。



●フォントを使う

インストールされているフォントを確認するには、Windowsではコントロールパネル内の「フォント」、MacではアプリケーションのFontBookで内容の確認ができます。

では、パソコンにないフォントはどのようにすればよいでしょうか。

ネット上で検索してみましよう。フォントはデザイン会社等が作成していますので、基本的には有料です。

その中でもフリーで配布されているフォントもありますので、探してみるのもいいでしょう。欧文フォントなら海外のサイトを探してみても、興味深いデザインのフォントが見つかるかもしれません。また、はがき作成ソフトなどに付属している場合もあります。

但し、「とりあえずいれとこう」などと、フォントをインストールしすぎると、選択も大変ですし、何より立ち上がりが遅くなる原因にもなります。ほどほどにしておきましょう。

フォントを使おう↑MS明朝

フォントを使おう↑MSゴシック

フォントを使おう↑HG創英角ゴシックUB

フォントを使おう↑HG丸ゴシックM-PRO

フォントを使おう↑HG行書体

フォントを使おう↑HG正楷書体-PRO

フォントを使おう↑HG創英角POP体

同じ文字でもフォントを変えるとイメージも変わります。作成するドキュメントに合ったフォントを上手く選びましょう。

フォント名の頭の「MS」などの文字は、作成元のメーカー名です。「MS」はマイクロソフト、「HG」はリコーです。

See you next Month